

本市は、明治31年に広島市に次いで県内で2番目に市制を施行し、本年度120周年となる記念すべき年を迎えたところでございます。

去る6月2日には、「尾道市制施行120周年記念式典」を挙行いたしました。

また同日は、「第58回 全日本花いっぱい尾道大会」の式典も執り行い、全国から多くの皆さまをお迎えいたしました。

ともに盛会の中、市制120周年を市議会議員の皆様、市民の皆様とともに、祝うことができ誠によろこばしいこととございました。

心から厚くお礼を申し上げます。

1169年に備後大田荘の倉敷地として公認の港となった尾道は、来年、開港850年の年を迎えることとなります。

そうした折、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」のストーリーが変更され、本市は追加の認定を受けました。

「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」、「“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島ーよみがえる村上海賊の記憶」に続き、日本遺産3冠を達成したものでございます。

これも長い歴史の中で、先人のたゆまぬ努力により築いてこられた財産を、市民の皆さまと磨き守ってきた取組が、全国的に認められることになったものであります。

本年11月に開催する「北前船寄港地フォーラム in 尾道」を成功させることで、さらに開港850年に向けた機運が高まることを期待するものでございます。

振り返れば、本年50周年を迎える尾道大橋、向島大橋の開通、尾道バイパス全線開通、新幹線新尾道駅の開業、山陽自動車道尾道インターチェンジ開設、しまなみ海道全橋開通、そして平成27年の中国やまなみ街道全線開通などを経て、陸上交通網も整備され、隣接する広島空港も含めて、本市の陸・海・空の交通拠点性がますます高まっています。

しまなみ海道で結ばれた今治市、やまなみ街道で結ばれた松江市とは姉妹都市として交流が進んでいます。

とりわけ今治市とは本年、姉妹都市提携50周年を迎え、各種記念行事を行うとともに、10月には、しまなみ海道を駆け抜ける国際サイクリング大会を共同で開催します。

日本遺産認定という形でも評価されたわがまち尾道の歴史や文化、景観といった魅力や高まる交通拠点性などを背景に、昨年のJR 瑞風の尾道駅停車、瀬戸内海をクルーズする豪華客船「ガンツウ」の就航につづき、本年秋には、サイクルシップの就航、来春にはJR 尾道駅新駅舎の開業等、尾道の魅力を生かした、民間投資による新たな事業展開が続いております。

今後も民間ノウハウの積極的活用や民間投資の促進を図ることで、地域活性化につなげていくことが重要であるととらえ、積極的に取り組んでまいります。

私は市長に就任して以来、「住みなれた地域で元気で生き生きと安心して暮らせるまち尾道」の実現に努めてまいりました。

今後も、急速に進む人口減少、少子高齢化、あるいはグローバル化等に的確に対応しながら、将来にわたって活力あるまちであり続けるために、「尾道オリジナル」で独創的・個性的なまちづくりを市議会議員の皆様、市民の皆様と共に進めてまいりたいと考えております。

それでは、ご提案いたしております諸案件につきまして総体的な説明を申し上げます。

まず、一般会計の補正予算案でございますが、主な内容としましては、4月1日付の人事異動等に伴いまして、これに見合う人件費の調整などをお願いしております。

これらのほか、情報システム再構築に要する経費や木ノ庄町木梨山方地区は場整備事業に係る換地処分関連経費、因島重井町の深浦新開ポンプ場のポンプ修繕経費、瀬戸田町福田の伊豆里農道の水路・法面崩壊に伴う復旧経費などをお願いしております。

加えて、情報システム再構築事業、尾道市瀬戸田サンセットビーチ管理運営業務について、債務負担行為の追加をお願いしております。

次に、特別会計の補正でございますが、一般会計と同様に、主に人事異動に伴う人件費の調整などをお願いしております。

その他、高西東新涯ポンプ場建設工事にかかる「工事請負契約の締結について」や、(仮称) 向東認定こども園調理室調理器具一式の「財産の取得について」などの議案を提出しております。

詳細につきましてはそれぞれの担当者から説明をさせますので、よろしく御審議の上、御承認を賜りますようお願い申し上げます。

※本文は、口述筆記ではありませんので、表現などについて、実際の説明と若干異なることがあります。